

キャラクター名	プレイヤー名
花音 響 (カノン ヒビキ)	

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプション		年齢	15	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	嫌悪	初期侵食率	32 %
出自	犯罪者の子	経験	大失敗	邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			R C	10		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術: 歌唱	2		知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
カンタービレ	R C	8r+10		15		2+4 基本コンボ 装甲無視 コスト7
コン・カローレ	R C	10r+10		20		1+2+4 装甲無視 1/R コスト9
コン・カローレ:100%↑	R C	11r+10		23		1+2+4 装甲無視 1/R コスト9
テンペストーソ	R C	10r+10		20		1+2+3+4 装甲無視 命中時・シーン中ダイス=3個 1/R コスト11

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN	
コネ: 噂話	
メモリー: 明日香	
ストレージフェイス	

合計装甲:	0	合計回避:	0
-------	---	-------	---

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	ダイス	消費
父親:花音 調 (カノン ミツギ)	P 遺志	N 憎悪		
失った仲間:風歌 凪 (フウガ ナギ)	P 幸福感	N 恐怖		
	P 尊敬	N 恥辱		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
亜純血	P	N		

最大財産P:	4	残り財産P:	2
--------	---	--------	---

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
魔獣の衝撃	4	2	メジャー	視界	—	対決	—	
効果:	攻: +5 ダイス+Lv 1/R							
魔獣の本能	1	2	メジャー/リアク	—	—	—	—	
効果:	組み合わせた判定を【肉体】で							
アースシェイカー	3	2	メジャー	視界	—	対決	—	
効果:	命中時、シーン中対象の判定ダイス-Lv個							
サイレンの魔女	5	5	メジャー	視界	シーン(選択)	対決	—	
効果:	攻: +[Lv×3] 装甲無視 コンセ不可							
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	自動	—	
効果:	シーン中【肉体】ダイス+ [Lv+2] アイテム装備・使用不可							
リミットリリース	1	6	オート	至近	自身	自動	100%	
効果:	判定直前 C値-1 (下限5) 1/シナ							
疾風迅雷	1	3	メジャー	-	-	対決	ピュア	
効果:	ドッジ不可 Lv/シナ 成長不可							
彼方からの声	1	1						
効果:	Lvキロメートルの会話							
真偽感知	1	2						
効果:	嘘かどうか見抜く。獣の勘							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「僕の言葉で教えてあげたいんです。こんなに世界は素晴らしいんだぞって……それが、アイツとの約束だから……」

—経歴—
3年前からUGNで過ごしているチルドレン。父親は元FHのエージェントであり、彼の手により殺されている。

今から15年前、とある男が実験と称し、一人の女性に子を宿した。彼の名は『花音 調』。FHエージェント『フィクサー』という男だ。日本FHの元トップであった都築京香の腹心の部下の一人であり、その名を知るエージェントは少なくないだろう。言葉巧みに人を操り、大小さまざまな事件を引き起こす。決して自分の手は汚さず、しっぽを出さない不可視の敵にUGNは大きな被害を受けていた。

そんな彼は、未発症のレネゲイド感染者であり、ただの一般人であった女性に目をつける。なぜ彼が子をなしたのか。今となっては知る由もない。自らの複製体を作ろうとしていたとも、より手駒として優秀なオーヴァードを作ろうとしたとも噂されている。理由はどうかあれ、彼はその女性と子をもうけた。子供は『花音 響』と名付けられ、女性の下で育てられることとなる。

彼らは母と子二人でつましく生活をしていた。彼自身、顔も知らぬ父親に少しの憧れを持っていただろう。健やかに、少々の不満や問題、そして多くの知られざる幸せとともに、12歳になる三年前まで暮らしていたのだ。しかし、そんな日常は崩れ去る。『花音 調』が母親と接触したのだ。調の能力により母親は彼の傀儡となり、彼の手足として多くのUGNエージェントと戦闘を行った。一方で響は突然連絡の取れなくなった母親を探し始める。地道な努力の結果、彼は母親がとある男と会っていたことを知り、彼らの潜むFHのアジトを突き詰める。

「やあ、待っていたよ。我が愚息。出来損ないの魔獣よ」